

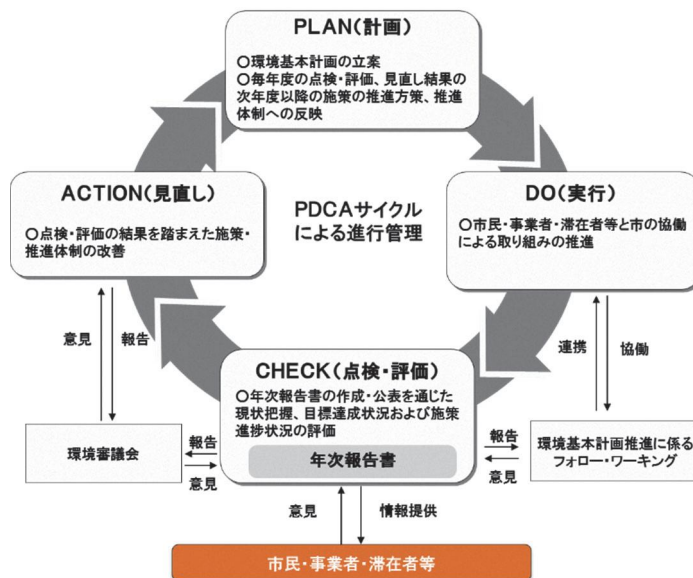


平成 30 年版
浦安市第 2 次環境基本計画年次報告書
【概要版】

年次報告書の作成趣旨

本市では、「環境基本条例」(平成 15 年 10 月)が示す基本理念にのっとり、環境の保全に関する施策などを、市・市民・事業者・滞在者等が協働して、総合的かつ計画的に推進することを目的に、「第 2 次環境基本計画」(計画期間:平成 26 年度~32 年度)を策定しました。

年次報告書は、計画に基づく各施策の進捗状況及び環境の現状等について、市・市民・事業者等が共有するとともに、今後の取り組みや推進体制、さらには計画の検討・見直しにつなげるために、毎年度作成、公表するものです。



第 2 次環境基本計画の施策体系

望ましい環境像	基本方針	施策の方向
人と自然とが共生する 水と緑で囲まれた持続可能な快適環境都市 うらやす	基本方針 1 安心して健やかに暮らせる生活環境を保全する	(1) 大気環境改善 (2) 海と川の水質改善 (3) 静けさや心地よさが保たれ、安心して暮らせる生活環境の確保
	基本方針 2 水や緑とふれあえ、潤いと安らぎのある、ふるさとのまちをつくる	(1) 身近で親しみやすい豊かな水辺空間の創出 (2) 緑と暮らしが調和する豊かな生活空間の創出 (3) 暮らしに息づくふるさとのまち・浦安の景観づくり
	基本方針 3 地球にやさしい低炭素社会を形成する	(1) 省エネルギー行動の推進 (2) 建物・設備等への再生可能エネルギー等導入、省エネルギー化の推進 (3) 低炭素のまちづくりの推進
	基本方針 4 環境への負荷の少ない循環型社会を実現する	(1) ごみの減量と再資源化の推進 (2) 廃棄物の適正な収集・処理
	基本方針 5 協働して環境保全に取り組む	(1) 環境を大切に作る人づくり (2) 協働による環境保全行動の推進

基本方針 1

安心して健やかに暮らせる生活環境を保全する

環境指標・参考指標の達成状況

大気、水質については、一部項目を除き、概ね環境指標、参考指標は達成されています。

生活環境について、未達成の指標は、自動車騒音が環境基準を超過した地点が多いこと、騒音・振動・悪臭の苦情が減少していないことが要因となっています。

環境指標：市が計画の進捗を管理するため、専門的データ（国の環境基準、県・市の環境目標値）で構成する指標
 参考指標：市の環境の状況や市民の行動の状況を継続的に把握し、市民によりわかりやすい形で示す市民に親しみやすい指標

施策の方向	指標の種類	達成	未達成	評価対象外※
1. 大気環境改善	環境指標	15	2	1
	参考指標	4	—	3
2. 海と川の水質改善	環境指標	14	3	—
	参考指標	1	1	5
3. 静けさや心地よさが保たれ、安心して暮らせる生活環境	参考指標	18	8	6

※達成状況の評価に適さないため、評価しない指標

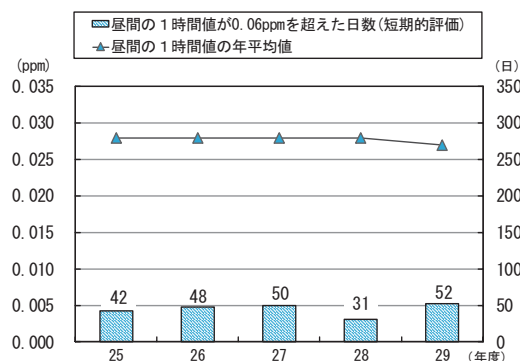
環境の現状と平成 29 年度の主な取り組み

大気環境の概況

市域における大気汚染状況の継続的な監視を行うため、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質（PM2.5）、ダイオキシン類、アスベスト等の大気汚染物質の測定を行っています。

平成 29 年度は、光化学オキシダントを除くすべての項目で環境基準を達成しました。

<光化学オキシダントの経年変化>

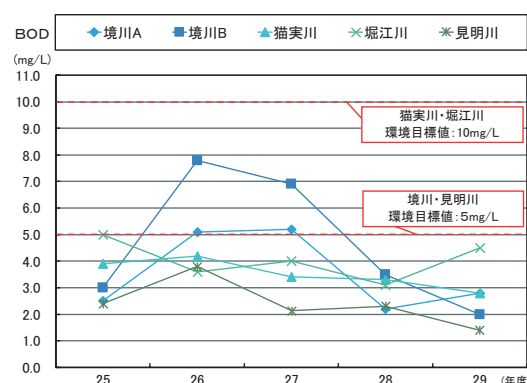


河川等の水質の概況

市内河川は、水質汚濁に関する環境基準の適用外ですが、汚濁が発生しやすい閉鎖的な水域であることを考慮し、有機汚濁を測る代表的な指標である生物化学的酸素要求量（BOD）の環境目標値を独自に設定し、測定を実施しています。

平成 29 年度の測定では、全地点で BOD の環境目標値を達成しました。

<河川等水質調査結果（BOD 経年変化）>



生活環境問題の概況

本市は、首都高速道路湾岸線、国道 357 号をはじめとする幹線道路の通過交通が多いことから、法令に基づき、市内 8 地点で自動車騒音・道路交通振動の状況調査を実施しています。

平成 29 年度調査では、自動車騒音が昼間 2 地点、夜間 5 地点で環境基準^{※1}を超過し、そのうち夜間 1 地点は要請限度^{※2}を超過しました。

<自動車騒音・道路交通振動要請限度調査結果>

項目		環境基準	要請限度
		超過地点	超過地点
自動車騒音	昼間	2	0
	夜間	5	1
道路交通振動	昼間	0	0
	夜間	0	0

※1 環境基準：「環境基本法」に基づいて、大気汚染・水質汚濁・騒音などから人の健康を守り、生活環境を保全するために設けられた環境上の基準
 ※2 要請限度：環境省令で定められた道路交通騒音・振動の限度とされる値

基本方針 2

水や緑とふれあえ、潤いと安らぎのある、 ふるさとのまちをつくる

参考指標の達成状況

水辺空間の創出については、水辺・三番瀬に関する講座・イベントに多くの市民が参加し、指標が達成されています。

緑に関する指標は、浦安市緑の基本計画（平成 26 年 9 月策定）の「みどりの目標」に変更したため、平成 29 年度の達成状況は評価対象外となっています。

施策の方向	指標の種類	達成	未達成	評価対象外※
1. 身近で親しみやすい豊かな水辺空間の創出	参考指標	1	—	—
2. 緑と暮らしが調和する豊かな生活空間の創出	参考指標	—	—	6
3. 暮らしに息づくふるさとのまち・浦安の景観づくり	(指標を設定していない)			

※達成状況の評価に適さないため、評価しない指標

環境の現状と平成 29 年度の主な取り組み

● 魅力ある水際線の創出

誰もが水際線の魅力に安全かつ気軽に接することができる歩行空間のネットワークを形成するため、散策やジョギングなどが楽しめる緑道の整備、修景整備などを進めています。

舞浜海岸では、事業延長約 3.4km のうち、平成 29 年度末までに約 1.5km の整備が完了しました。

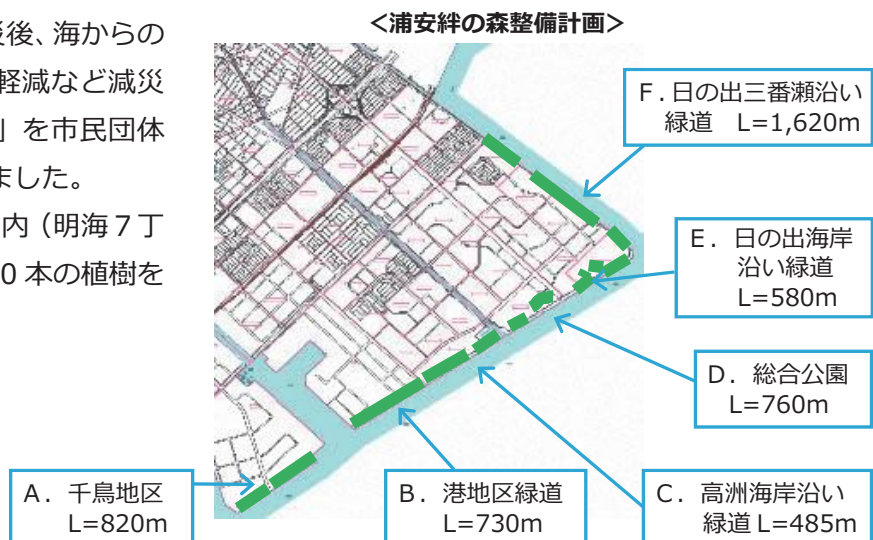
境川については、引き続き千葉県により新橋から江川橋前の区間の修景整備を実施しました。今後も、早期完成に向け千葉県との協議を進めます。



● 浦安絆の森

平成 23 年の東日本大震災後、海からの潮風を和らげ、高潮被害の軽減など減災効果が期待される「絆の森」を市民団体等との協働事業にて整備しました。

平成 29 年度は、総合公園内（明海 7 丁目地先）約 400 m² で約 1,400 本の植樹を実施しました。



基本方針3 地球にやさしい低炭素社会をつくる

参考指標の達成状況

建物・設備等への再生可能エネルギー等導入、省エネルギー化の推進については、浦安エコホーム事業による累計補助件数や、公共施設への環境負荷の低いエネルギー導入件数等が増加していることにより、概ね達成されています。

施策の方向	指標の種類	達成	未達成	評価対象外※
1. 省エネルギー行動の推進	参考指標	—	—	1
2. 建物・設備等への再生可能エネルギー等導入、省エネルギー化の推進	参考指標	4	—	1
3. 低炭素まちづくりの推進	参考指標	—	—	1

※達成状況の評価に適さないため、評価しない指標

環境の現状と平成 29 年度の主な取り組み

●浦安エコホーム事業

地球温暖化の防止を図るため、住宅に再生可能エネルギー設備を設置した市民に設置費用の一部を助成しています。

平成 29 年度は、太陽光発電システム、住宅用エネルギー管理システム（H E M S）などに延べ 232 件、約 970 万円分の助成を実施しました。

＜平成 29 年度の補助件数＞

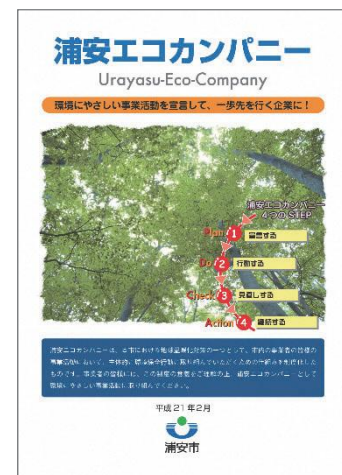
対象	件数
太陽光発電システム	27 件
家庭用燃料電池システム	49 件
リチウムイオン蓄電システム	7 件
エネルギー管理システム	91 件
雨水貯留タンク	58 件
太陽熱利用システム	0 件
延べ 232 件・9,666,750 円	

●浦安エコカンパニー

「浦安エコカンパニー」は、事業者が環境に配慮した事業活動を自ら宣言し、テキストに示した行動（配慮事項等）を選択して実践してもらうものです。

平成 29 年度時点で、13 社が認定を受けており、市のホームページで紹介しています。

事業者のニーズに合うよう制度の検討を行い、多くの事業者へ普及していきます。



●公共施設への再生可能エネルギー等導入・省エネルギー化推進

「浦安市公共施設整備の環境配慮事項」に基づき、公共施設の新築や大規模改修時に、太陽光発電や L E D 照明の設置、ランニングコストや消費エネルギーの少ない機器の採用などの省エネルギー化を進めています。

平成 29 年度は、見明川小学校屋内運動場、日の出中学校屋内運動場、健康センターの改修に伴い、L E D 照明を設置しました。

＜公共施設の環境負荷の少ないエネルギー導入状況（平成 29 年度末現在）＞

設備・機器	件数	定格出力 (kW)
太陽光発電	35	406.5
風力発電	1	2.5
廃棄物発電	1	1,450
太陽熱利用	1	/
廃熱利用	1	
太陽光発電式街灯 (L E D 照明)	107	
風力・太陽光発電一体型街灯	5	
街路灯 L E D	8,000	

基本方針 4 環境への負荷の少ない循環型社会を実現する

参考指標の達成状況

ごみの減量と再資源化の推進については、計画期間最終年度（平成 32 年度）の達成状況を評価するため、現時点では評価対象外としています。目標達成に向け、引き続き施策を推進します。

施策の方向	指標の種類	達成	未達成	評価対象外※
1. ごみの減量と再資源化の推進	参考指標	—	—	5
2. 廃棄物の適正な収集・処理	(指標を設定していない)			

※達成状況の評価に適さないため、評価しない指標

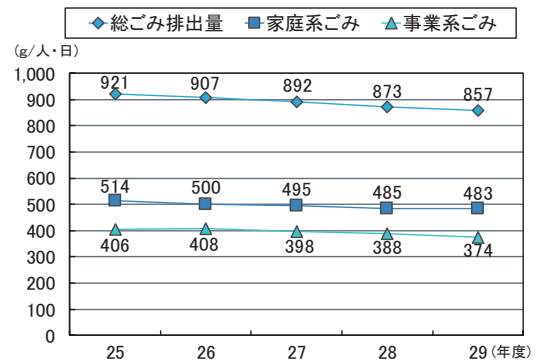
環境の現状と平成 29 年度の主な取り組み

●ごみの減量化

本市における総ごみ排出量は、減少傾向にあり、家庭系ごみ及び一人あたりの 1 日平均ごみ排出量についても減少傾向を示しています。その理由として、「ビーンズ計画」における啓発により、市民の参加が進んでいることや、「エコショップ認定店舗」制度が周知されてきていることが考えられます。

また、イベントから出るごみの減量を進めるため、「イベントごみ減量ガイドライン」に基づいて、自治会等への働きかけを行っています。

＜資源物を除いた一人あたりの 1 日平均ごみ排出量の推移＞



●分別収集・資源回収の推進

一般家庭から排出される資源物のリサイクルを目的に、びん・缶・ペットボトルを収集しています。また、市役所・公民館等の公共施設における飲料用紙パック、白色発泡トレイ、紙製容器包装等の拠点回収、自治会等の団体が行う資源回収補助事業へ支援、小型家電のリサイクル事業を実施しており、平成 29 年度は右の表に示す資源を回収しました。

＜平成 29 年度の資源の収集量＞

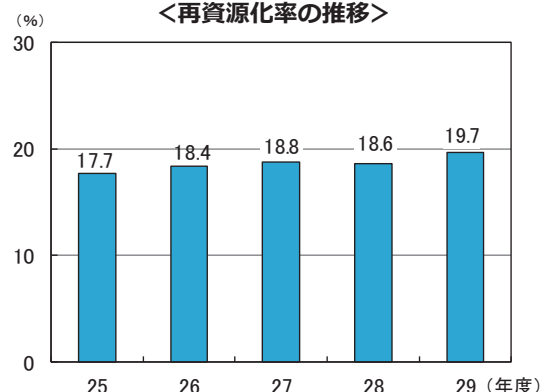
	資源	回収量
資源ごみ収集	びん	1,828 t
	缶	494 t
	ペットボトル	592 t
拠点回収	飲料用紙パック	3,150kg
	白色発泡トレイ	356.6kg
	紙製容器包装	4,491.5kg
資源回収		4,164,165kg
小型家電リサイクル事業		10,828kg

●再資源化の推進

平成 29 年度の再資源化率は、平成 23 年度と比較すると 0.3 ポイント減少し、19.7%となっています。

再資源化率減少の大きな理由は、東日本大震災の影響により、焼却灰をエコセメント化している事業者が操業できない状況となり、焼却灰の多くを民間の最終処分場で処分しているためであり、その代替として、焼却残渣を溶融スラグ化する技術に注目し、再資源化率を向上させるよう努めています。

＜再資源化率の推移＞



基本方針 5 協働して環境保全に取り組む

参考指標の達成状況

環境を大切にする人づくりについては、環境学習アドバイザーの派遣、市民大学・郷土博物館での環境講座などの指標が達成されています。

協働による環境保全行動の推進については、事業者向けの取組、市民活動団体に関する指標が未達成となっています。

施策の方向	指標の種類	達成	未達成	評価対象外※
1. 環境を大切にする人づくり	参考指標	3	2	4
2. 協働による環境保全行動の推進	参考指標	1	3	—

※達成状況の評価に適さないため、評価しない指標

環境の現状と平成 29 年度の主な取り組み

●環境フェア開催

市民一人ひとりが、様々な角度から環境問題について考え、身近なものから地球規模のものまで幅広く理解を深めてもらうとともに、環境保全行動への「気づき」を促すことを目的に、楽しみながら学び、考えることができる参加・体験型イベントとして、第 20 回浦安市環境フェア『“COOL CHOICE”（クールチョイス）で“ECOCORO”（エココロ）あふれる浦安に』を開催し、7,500 人が来場しました。

<第20回浦安市環境フェアの様子>



●環境教育・環境学習の推進

環境問題の現状を理解し、行動につなげてもらえるよう、学校、学童育成クラブ等で環境学習を計 69 回実施しました（うち 56 回環境アドバイザーを派遣）。

また、市外の環境学習施設や自然公園等で環境学習を行うことも環境学習体験講座（2 回）や、京葉瓦斯（株）との協働で行うエコ・クッキング体験事業（4 回）を実施しました。

さらに、子どもの地域での環境活動を支援するため、日本環境協会が行うこどもエコクラブ制度の周知を行いました。



平成 30 年版 浦安市第 2 次環境基本計画年次報告書【概要版】

編集・発行：浦安市環境部環境保全課

〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目 1 番 1 号

Tel (047) 352-6481 (直通) Fax (047) 381-7221

市ホームページ <http://www.city.urayasu.lg.jp>